

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

和歌山市立西脇中学校（和歌山県）【指定校】

## 【取組内容】 日報をデジタル化し、共同編集で情報伝達の漏れをなくす取り組み

### 【背景】

これまで日報は、前日までに教頭に「〇月〇日の日報に〇〇と記載をお願いします。」と依頼し、早朝教頭が印刷して職員のデスクに配り、職員はそれを事前に見て5分間という短い時間の職員朝礼で、補足・付け足しを行うというものであった。

これでは、補足・付け足し内容を、時短勤務の職員（遅出）に情報伝達できない。前日までに教頭に伝えきれなかった内容が、早口で説明される。急な変更に対応しづらい。印刷の手間などの問題点があった。

### 【新たな取り組み】

日報をスプレッドシートに置き換えた。これによって共同編集が可能になり、上記の問題点を一気に克服できた。また、スプレッドシートの機能「リンク挿入」を利用し、PDFにした配布資料を貼り付けることができ、見やすさは保ったまま情報量が増やすことができた。

さらに、出張や家庭の事情等で出勤できない職員も、個人のデバイスから見ることで、学校の様子が分かったり、情報伝達ができるようになった。

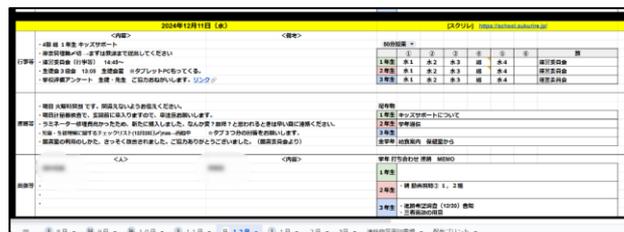
### 【課題】

- ・校務用PCを持って教室に向かうことに抵抗がある職員がいる。
- ・手書きメモに慣れている職員は、「これまでの日報がやりやすかった」という意見。
- ・勤務形態によって、校務用PCが支給されない職員は、情報を得られない。

**対策** → 職員朝礼 直前に教頭が 数部 印刷し 所定の位置に置く。



職員用Google Classroom



デジタル化した日報（スプレッドシート）